

# 報道資料

発表年月日 令和6年3月8日(金)  
担当部署名 福祉医療部医療政策局疾病対策課  
担当者 市川・小島  
連絡先 0742-27-8722(内線 3220・3136)

## 麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起

令和6年3月6日(水)、県内の医療機関を受診した方について、検査の結果、麻しん(はしか)の陽性が判明しました。今後の感染拡大を防止し、注意喚起のため報道発表します。

報道に際しては、患者のプライバシーの保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いいたします。

### ●患者の概要

30歳代、男性

発症日：令和6年3月5日(火) 発熱

診断日：令和6年3月6日(水)

主な症状：発熱、倦怠感、頭痛(現在自宅療養中)

海外渡航歴：無し

※保健所にて疫学調査を実施し、接触者の健康観察を実施しています。

※令和6年2月26日に奈良市が報道発表を行った麻しん患者の疫学調査にて、接触者と特定されており、健康観察を実施していた方です。

### ●患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性がある日時及び施設

・3月4日(月) 6時頃

ローソン 奈良芝辻町一丁目店

・3月4日(月) 23時～23時15分頃

松屋 奈良三条大路店

・3月4日(月) 23時20分頃

ローソン 奈良法蓮町東店

(注)施設への問い合わせはご遠慮ください。

※移動については、自家用車を使用しており、公共交通機関の利用はありません。

● 県民の皆様へ

同日に上記施設を利用した方で、3月25日(月)までに、発熱、風邪症状、発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。

麻疹は感染力がきわめて強い感染症で、典型的な症状として、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いたあと、39度以上の高熱と発疹が出現します。

麻疹患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず事前に医療機関に連絡し、「麻疹かもしれない」ことを伝えたくて、指示に従ってください。

麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防することができません。予防接種が最も有効な予防方法であり、麻疹の定期予防接種は、1歳児、就学前の年長児の2回接種です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。

なお過去に罹患した方や2回予防接種をしている方については、発症リスクは低くなります。

<麻疹の発生状況>

年	H31/R1	R2	R3	R4	R5
奈良県	10	0	1	0	0
全 国	744	10	6	6	28

※R6年、奈良県における確定診断例は2例です(3月6日現在)。